

## ナゾの円窓付土器

この土器は、大きな円い穴があけられているのが特徴です。お墓などに供えられた土器のようですが、大きな穴の使い方はよくわかっていません。

みなさんもこの土器の使い方を考え、友だちと話し合ってみてください。



円窓付土器

## 朝日遺跡や発掘調査についてもっと知りたい!



朝日遺跡インターネット博物館

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/>

朝日遺跡についてくわしく解説しています。

子ども考古学教室もあるよ。



愛知県埋蔵文化財センター

<http://www.maibun.com/kouza/newkidsindex.html>

愛知県の発掘調査情報や子ども講座、考古学入門講座がみられます。

## 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館ご利用案内

- 所在地 〒452-0932 愛知県清須市朝日貝塚1 電話 052-409-1467
- 開館時間 午前9時30分～午後4時
- 入館料 無料
- 休館日 日・月・火曜日、祝日、年末年始



弥生体験講座・石包丁で稲刈り



火起こしに挑戦!

## 清須市の歴史・文化を学べる施設

- 清須市歴史資料展示室(清須市立図書館内)
- 清洲城
- 西枇杷島間屋記念館



交通案内 ㈱東海交通事業城北線尾張星の宮駅から 徒歩10分  
名鉄名古屋本線新清洲駅から 徒歩30分  
JR東海道本線清洲駅から 徒歩35分  
きよすあしかるバス ピアゴ清洲店前停留所下車 徒歩5分  
名古屋第二環状自動車道清洲東ICから 車で約5分

国重要文化財指定記念展

小中学生用パンフレット

# 朝日遺跡

## よみがえる弥生の技

平成25年 **水祝** 3月20日～5月19日

愛知県清洲貝殻山貝塚資料館

〒452-0932 清須市朝日貝塚1 TEL 052-409-1467

開館時間 午前9時30分から午後4時まで

休館日 毎週月・火曜日【ただし4月29日(月)、5月6日(月)は開館】

\*記念展開催中は、通常の開館日を変更します。

主催 愛知県教育委員会、清須市、清須市教育委員会、  
公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター



弥生時代の朝日遺跡 (想像図)

弥生時代の生活をみてみよう



かいらやま博士

## ようこそ朝日遺跡へ

今からおよそ2400年前、中国・朝鮮半島から日本に米づくりが伝えられました。また、鉄・青銅などの金属を加工する技術ももたらされました。たくさんの方が集まる巨大な集落が各地に誕生し、食料や鉄などの資源をめぐる集落どうしの争いも起こるようになり、集落の指導者は大きな力をもつようになっていきました。約700年続いたこの時代を弥生時代とよんでいます。

朝日遺跡は、尾張地方に最初に米づくりを伝えた人たちがつくったムラでした。やがて、このムラにはたくさんの方があつまり、さかんにものづくりがおこなわれるようになりました。そして、西日本と東日本の弥生文化の中継地として、東海地方でもっとも大きな集落へと発展していきました。

この展覧会では、朝日遺跡のものづくりを中心に、弥生時代の社会や生活について紹介しています。

問い合わせ先

愛知県教育委員会 生涯学習課文化財保護室  
TEL 052-954-6782

朝日遺跡インターネット博物館  
<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/>



## 米づくりのはじまり

朝日遺跡は、尾張地方で最初に米づくりをはじめた人たちのムラでした。石包丁、クワ、スキ、ウス、キネなどの農具がたくさん出土しているほか、炭になったお米もみつかっています。



木で作られた農具



収穫の道具・石包丁



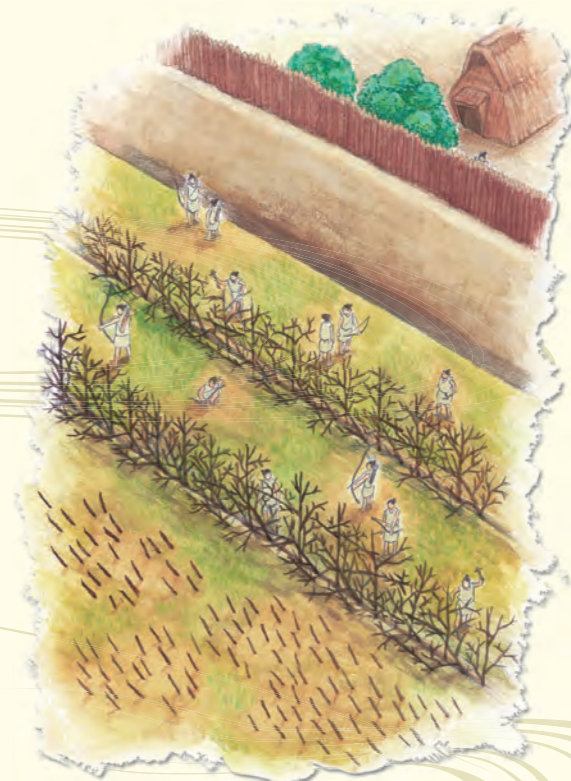
脱穀の様子（想像図）

## はげしくなる争い

米づくりが広がると食料や資源をめぐるムラどうしの争いも起こるようになりました。朝日遺跡では、集落を囲む環濠（堀）や逆茂木とよばれる木のバリケードが見つかり、弥生時代の戦いのようすを伝える遺跡として注目をあつめました。



地面に杭を打ち込んだバリケード



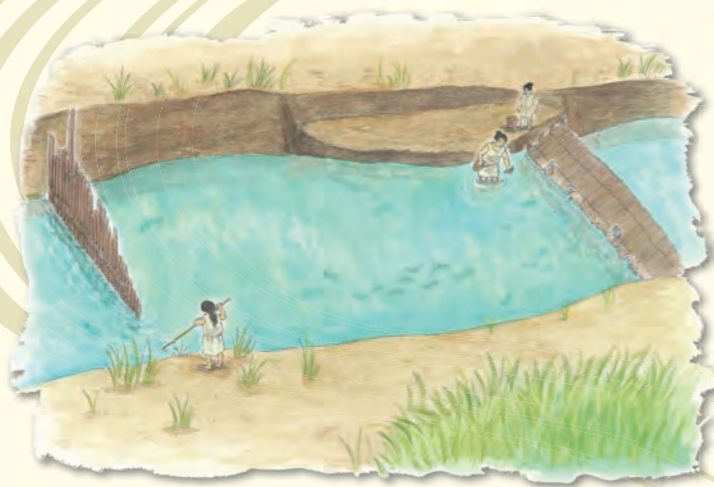
朝日遺跡の防御施設と戦い（想像図）

## 自然のめぐみ

朝日遺跡の近くには、大きな干潟が広がっていました。カキ、ハマグリ、シジミといった貝がとられ、大きな貝塚が残されました。また、モリやヤス、網をつかった魚とり、弓をつかった狩りなどもさかんにおこなわれていました。

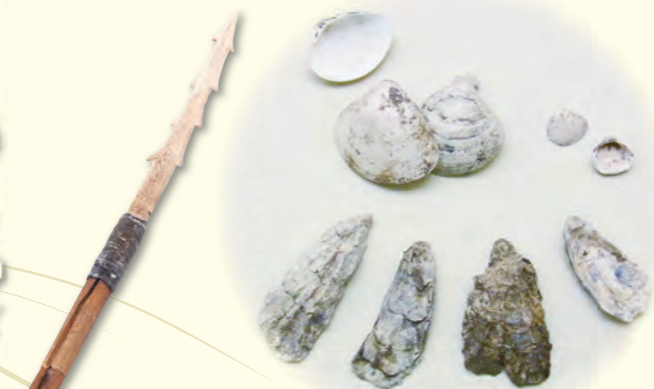


厚く堆積した貝層



魚とりの様子（想像図）

朝日遺跡では日本最古のヤナ（魚をとるしかけ）が見つかっています。



出土した貝殻

モリ

## 朝日遺跡をささえたものづくり

赤く塗られた赤彩土器、木で作られた農具や容器、美しい玉の首飾り、細かな彫刻がほどこされた角や骨のアクセサリー、最新の技術をもちいた青銅器など、朝日遺跡はさまざまなものづくりによって栄えていました。



玉の首飾り



巴形銅器



赤く塗られた土器



銅鐸



牙・角で作られたアクセサリー

